

# 霧島ジオパーク エリア拡大認定



令和4年9月28日、エリア拡大した霧島ジオパークが日本ジオパーク委員会に認定されました。これまで、霧島山を中心としてJR日豊本線、吉都線、肥薩線で囲まれたエリアでしたが、今回の認定で構成市町である霧島市、曾於市、湧水町（鹿児島県）、都城市、小林市、えびの市、高原町（宮崎県）全域がエリアとなりました。面積も3・35倍になりました。（下図参照）

小林市でも、これまで霧島ジオパークの魅力が発信する際に、エリア外であることで伝えられなかった地域資源が多くありました。エリア拡大で、小林市全域の地域資源も活用し、全国に霧島山を中心とした小林市の魅力を発信することができますようにしました。

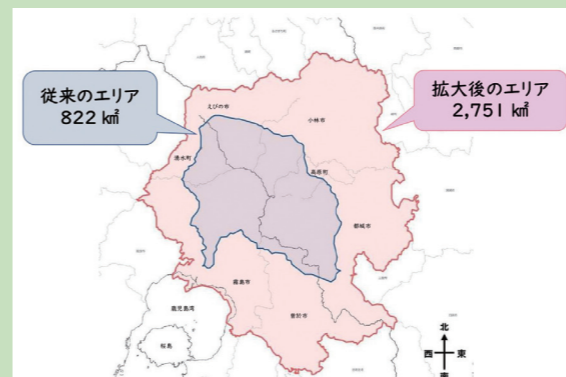
例えば、火山の石を利用して建造された東方大丸太鼓橋や岩瀬川のみに自生するオオヨドカワゴロモ、火山によって形作られた洞窟に彫刻された東麓石窟仏など

の貴重な地域資源が加わりました。

今回の認定は、地域住民の日頃の活動や現地審査への協力があったからこそ実現しました。霧島ジオパーク推進連絡協議会では、これから民間の事業者や地域住民とともに、「火山活動に合わせた持続可能なまちづくり」を推進していきます。

霧島ジオパーク推進連絡協議会ホームページには、見どころを楽しく効率的に回れるモデルコースが用意されています。ぜひ霧島ジオパーク内を巡り、大地の暮らしに至るまで、地球の記憶をたどる壮大な物語にふれてみませんか。

霧島ジオパーク  
推進連絡協議会  
ホームページ



【図】従来のエリアと拡大後のエリアの比較

## ジオパークとは

「ジオ（Geo）」は地球や大地、「パーク（Park）」は公園という意味で、世界的に美しく、科学的に見て貴重な地形や地質に触れ、学ぶことのできるひとつのまとまった地域のことです。

その目的は、貴重な地形や、そこに住む人の働きかけによって生まれた考古・歴史遺跡のような文化景観、さらには地形・地質の上に生まれた生態系や植生などといった「地域の宝もの」を守り、かつ多くの人に知ってもらうこと。

## 市内の主なサイト（見どころ）

### 自然



#### 出の山湧水

多様な生き物が生息する豊かな自然環境が特徴。ゲンジボタルの生息地があり、環境省の「ふるさといきもの里」にも選定されています。火山がもたらす豊かで清らかな水を体感できるスポットです。

### ビュースポット



#### 大塚原公園

道の駅ゆるびるのじりに隣接し、頂上には遊具もある、親子で楽しめるスポット。展望台からは360度見渡すことができ、霧島山や九州山地など、ジオパークならではの風景を楽しむことができます。

### 地形地質



#### 須木の滝（ままゝ滝）

すきむらんどの大吊橋から眺めることができる滝。加久藤火砕流堆積物を本庄川（綾南川）が侵食してきたもので、小野湖の湖面に轟音とともに水しぶきをあげて落下する滝の姿は絶景です。

## INTERVIEW 火山の恵みに気付いて



霧島ネオトマガイドクラブ 会長 古園俊男さん

小林は自然が豊かなまち。畜産業、農業、果樹園など、豊かな自然を生かし生活する人たちが多くいます。この環境は、当たり前のもではありません。

夷守岳の山体崩壊や、小林カルデラの噴火によるシラス台地の影響など、付近に火山があったからこそ豊かな湧水や土壌といった、生活につながる恵みが存在しています。この土地で生活している人たちが、特にこれから先は若い人たちにこうした「自分たちの持っている宝」の存在について気付いて欲しいです。

ジオパークとは何なのか、そこで生活する私たちは地球の恵みによって生かされているんだということを知らずとも、今後は霧島ジオパークの魅力について伝える活動を続けていきます。

## 霧島ジオパークの魅力

### 魅力その1 火山の博物館

霧島山は加久藤カルデラの南縁の20km×10kmの楕円形の範囲に20を超える火山と火口湖が集まっています。火山や火口湖の形態も多様で、まさに火山の博物館と言えます。



### 魅力その2 植生

霧島山の火山活動などが影響し多種多様な植物が生育しており、ここでしか見られないノカイドウや1300種類を超えるといわれる多くの植物を見ることができます。



### 魅力その3 歴史・神話

「古事記」や「日本書紀」など日本神話などにも取り上げられている霧島山。「高千穂峰」に降り立ったとされる「ニニギノミコト」などを祀った神社が山を取り囲むようにあり、国の無形文化財に指定された「神楽」や「神舞」が残されています。

